

放送大学千葉学習センター

# 利用の手引き



2022年度

放送大学学歌

那珂太郎 作詩  
柴田南雄 作曲

1. あまたのほほしやかなかのちきゅうにあつて  
2. はるかなえいごうのなかのこのじだいにあつて

われらはまはしなうせいかいをしおんを  
われらどこからきてどこにいるのか  
われらどこからきてどこへいくのか

いきるとはまなぶこととまなぶのはたのしみ  
いきるとはましることとまなぶのはたのしみ

ちははひかりみどりよいかいをひらくため  
ちははひかりみどりよいかいをひらくため

いつでもどこでもみえないともとともにかたりにあきともまなぶ  
あしたにゆうべにしたいともとともにかたりにあきともまなぶ

1.2. ひらかれただいがくほうそうだいがく

(一)

あまたの星々のなかの この地球にあつて  
われらはまなぶ 世界を 自分を  
われら どこから来て どこにゐるのか  
生きるとはまなぶこと まなぶのはたのしみ  
知は光 みどりの未来を 展ひらくため  
いつでも どこでも

見えない友と 共に生き 共にまなぶ

開かれた大学 放送大学

(二)

はるかな永劫のなかの この時代にあつて  
われらは知らう 社会を 自然を  
われら どこから来て どこへ行くのか  
生きるとは知ること 知ることとはよろこび  
知は力 よりよい生いのちを拓ひらくため

朝あしたに 夕ゆふに  
親しい友と 語り合ひ 共にまなぶ

開かれた大学 放送大学

2022年4月より、放送大学千葉学習センターの所長に就任いたしました片岡でございます。私は2021年3月まで千葉大学教育学部に勤めておりまして、前任の長澤成次先生とは教育学教室での同僚として、30年近く一緒に教育研究に携わって参りました。長澤先生のご紹介で客員教授となりまして、2021年度から「ジェンダー・セクシュアリティを考える」というミニゼミを開講しております。

私の教育学研究のスタートは生活綴方教育でした。生活綴方教育とは、戦前の日本の学校の教育課程にあった「綴方科」の授業で、教師が子どもに、自分が見たり行動したりした事実をありのままに綴り、そのありのままの生活現実から、ものごとを深く考えていくことを追求した教育方法です。生活綴方教育は戦時下に弾圧されてしまいましたが、戦後の日本国憲法の下、自由と民主主義の社会をつくろうとする教育改革のなかで、復活しました。高度経済成長を経て、学歴競争社会になると、生活綴方教育は衰退しましたが、私は生活綴方教育がめざしていたことは現代の教育のなかでこそ、問い直される必要があると考え続けて、近年はジェンダーと人権教育の研究へと発展させております。

「学習権とは、読み書きの権利であり、問い続け、深く考える権利であり、想像し、創造する権利であり、自分自身の世界を読みとり、歴史をつづる権利であり、あらゆる教育の手だてを得る権利であり、個人的・集団的力量を発達させる権利である。」

これは1985年に第4回ユネスコ国際成人教育会議で採択された「ユネスコ学習権宣言」の冒頭の部分です。この学習権宣言を読んだとき、ここに生活綴方教育の精神が書かれていると思いました。そして1983年に開学した放送大学は、この学習権を行使しようとする様々な年代の人々に開かれた高等教育の場だと思うのです。

放送大学でこれまでの人生の経験知を駆使しながら、学問の世界に分け入ろうとする学生の皆様と学びあうことは、私の研究にもつながる意義深いことです。

コロナ禍による制約がまだ続く昨今ですが、学生の皆様がつながりあって学ぶことができるよう、学習センターの職員とともに支えていけるよう努力して参ります。どうぞよろしくお願いたします。

2022年4月

千葉学習センター

所 長 片 岡 洋 子

## 目次

放送大学学歌

学生のみなさまへ

●2022年度授業等日程	1
●2022年度学年暦	2
●学習センターについて	8
・主な業務	
・センターを利用できる方	
・利用上の注意事項	
・開所日と利用時間	
・学習センターホームページ	
・「THE CHIBA OUJ」	
・学生証	
●施設案内図	10
●施設の利用について	11
●附属図書館の利用について	13
●行事・課外活動等について	14
・課外活動	
●学習上の諸注意	16
・科目登録	
・通信指導	
・単位認定試験	
・面接授業	
・卒業研究	
・体育実技	
・学習相談	
・質問票	
●諸手続き・諸証明書発行	20
・氏名の変更	
・住所等の変更	
・職業等の変更	
・その他手続	
・各種証明書の発行	
・学割証の発行	
・学生教育研究災害傷害保険	
●学内システムの利用について	22
・システム WAKABA	
・キャンパスメール	
・学生用パソコン	
・ログイン方法	
●学生相談について	23
・ハラスメントについて	
・学生相談について	
●千葉学習センター教員	24
●大学本部及び他の学習センター	25

## 第1学期

4 April

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

5 May

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

6 June

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

7 July

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

8 August

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

9 September

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

## 第2学期

10 October

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

11 November

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

12 December

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

1 January

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

2 February

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28					

3 March

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

赤字 センター閉所日

直接授業期間（第1学期：4/16～7/31 第2学期：10/15～1/29）

単位認定試験期間（第1学期：7/15～7/26 第2学期：1/17～1/25）

2022年度学年暦

第1学期

4 月	
1	金 第1学期放送授業開始(～7/14)
2	土 大学院研究指導オリエンテーション
3	日 大学院研究指導オリエンテーション
4	月
5	火
6	水
7	木
8	金
9	土 入学者のつどい／運営会議
10	日
11	月
12	火
13	水
14	木
15	金
16	土 第1学期面接授業開始(～7/31) 面接授業空席発表
17	日
18	月
19	火
20	水
21	木 面接授業追加登録受付(～7/17)
22	金
23	土
24	日
25	月
26	火
27	水
28	木
29	金 休日(昭和の日)
30	土

5 月	
1	日 学校図書館司書教諭講習(夏季集中型) 出願・科目登録受付開始(～6/7)
2	月
3	火 休日(憲法記念日)
4	水 休日(みどりの日)
5	木 休日(こどもの日)
6	金 振替休日・通信指導問題がこの日まで未着の場合、本部に問合せ
7	土
8	日
9	月 Web 通信指導による提出受付開始 10:00～(～5/31 17:00)
10	火
11	水
12	木
13	金
14	土 教員免許更新講習(夏期)講習生受付終了
15	日
16	月 郵送による通信指導の提出受付開始 (～5/31 必着)
17	火
18	水
19	木
20	金
21	土
22	日
23	月
24	火
25	水
26	木
27	金
28	土
29	日
30	月
31	火 Web 通信指導による提出期間終了 (～17:00) 郵送による通信指導の提出期間終了 (必着)

日付・曜日赤字	センター閉所日
青字	単位認定試験日 (大学院・学部)、 入試、各種資格試験等
	面接授業開講期間

6 月	
1	水
2	木
3	金
4	土
5	日
6	月
7	火 学校図書館司書教諭講習(夏季集中型)出願・科目登録申請期間終了
8	水
9	木
10	金 2022年度10月入学 全科・選科・科目履修生・修士選科・科目生 第1回出願受付開始(～8/31)
11	土
12	日
13	月
14	火
15	水
16	木
17	金
18	土
19	日
20	月
21	火
22	水
23	木
24	金
25	土
26	日
27	月
28	火
29	水 通信指導提出者は、自習型問題の解答・解説の添削結果がこの日まで未着の場合、本部に問合せ
30	木

6月上旬 卒業研究履修の手引配布開始  
 6月中旬 既修得単位認定通知発送  
 【入学時申請者】

7 月	
1	金
2	土
3	日
4	月
5	火
6	水
7	木
8	金 単位認定試験通知(受験票)がこの日まで未着の場合、本部に問合せ
9	土
10	日
11	月 以下の期限までに、択一式科目(併用式科目の択一部分)の添削結果が届かない場合は、大学本部(TEL:043-276-5111(総合受付))に連絡してください。第1学期：7月7日、第2学期：1月7日
12	火
13	水
14	木 通信指導提出者は、記述式科目(併用式科目の記述部分)の添削結果がこの日まで未着の場合、本部に問合せ
15	金 単位認定試験【Web試験】
16	土 単位認定試験【Web試験】
17	日 単位認定試験【Web試験】
18	月 海の日 単位認定試験【Web試験】
19	火 単位認定試験【Web試験】
20	水 夏季集中型 放送授業開始(～8/4) 単位認定試験【Web試験】
21	木 単位認定試験【Web試験】
22	金 臨時閉所 単位認定試験【Web試験】
23	土 単位認定試験【Web試験】
24	日 単位認定試験【Web試験】
25	月 閉所日 単位認定試験【Web試験】
26	火 単位認定試験【Web試験】
27	水 閉所日
28	木
29	金
30	土
31	日 第1学期面接授業終了

7月上旬～中旬 継続入学用関連書類発送  
 7月中旬 科目登録申請要項発送

## 2022年度学年暦

### 第1学期

8 月	
1	月
2	火
3	水
4	木
5	金
6	土
7	日 次学期に学籍のある方は、科目登録申請要項がこの日まで未着の場合、本部に問合せ
8	月
9	火 臨時閉所日
10	水 臨時閉所日
11	木 休日(山の日)
12	金 臨時閉所日 夏季集中型の通信指導の提出期間終了(必着)
13	土 臨時閉所日
14	日 2022年度4月入学 博士全科生・修士全科生出願受付開始(~8/25 必着) 臨時閉所日
15	月 システムWAKABAによる科目登録の申請受付開始 9:00~(~8/31 24:00) 郵送による科目登録の申請受付開始 (~8/30 私書箱必着)
16	火
17	水
18	木
19	金
20	土
21	日
22	月
23	火
24	水
25	木 2023年度4月入学 修士全科生、博士全科生出願受付期間終了
26	金
27	土
28	日 臨時閉所日
29	月
30	火 郵送による科目登録申請期間終了(必着)
31	水 2022年度10月入学 全科・選科・科目履修生、修士選科・科目生 第1回出願受付期間終了・システムWAKABAによる科目登録申請期間終了(~24:00)

8月下旬 単位認定試験成績通知書発送

9 月	
1	木 2022年度10月入学 全科・選科・科目履修生、修士選科・科目生 第2回出願受付開始(~9月中旬)
2	金
3	土
4	日 臨時閉所日
5	月
6	火
7	水
8	木
9	金
10	土
11	日
12	月
13	火
14	水 科目の登録をした方は、科目登録決定通知書(払込票)がこの日まで未着の場合、本部に問合せ
15	木
16	金
17	土 第1学期 学位授与式
18	日
19	月 休日(敬老の日)
20	火 振替休日(9/19分)
21	水
22	木
23	金 休日(秋分の日)
24	土
25	日 臨時閉所日
26	月
27	火
28	水
29	木
30	金 2022年度第2学期学費納入期限

9月下旬 教員免許更新講習(夏期)修了証明書発送



第2学期

10 月	
1	土 第2学期放送授業開始(～1/20) 2023-1大学院修士全科/博士全科 第1次選考
2	日
3	月
4	火
5	水
6	木
7	金
8	土 単位認定試験 学校図書館司書教諭 講習(夏季集中型)課題提出期間終了 (必着)入学者のつどい
9	日
10	月 休日(スポーツの日)
11	火 振替休日(10/10分)
12	水
13	木
14	金
15	土 第2学期面接授業開始(～1/29) 面接授業空席発表
16	日
17	月
18	火
19	水
20	木
21	金 面接授業追加登録受付(～1/15)
22	土
23	日
24	月
25	火
26	水
27	木
28	金
29	土
30	日
31	月

11 月	
1	火
2	水
3	木 休日(文化の日)
4	金 通信指導問題がこの日まで未着の 場合、本部に問合せ
5	土
6	日
7	月
8	火 Web 通信指導による提出受付開始 10:00～(～11/29 17:00)
9	水
10	木
11	金
12	土 2023-1大学院修士全科2次選考 面接試問
13	日 2023-1大学院修士全科2次選考 面接試問
14	月
15	火 郵送による通信指導の提出受付開始 (～11/29必着)
16	水
17	木
18	金
19	土
20	日
21	月
22	火
23	水 休日(勤労感謝の日)
24	木
25	金 2023-1入学生第1回募集(～2/28) (11月下旬のため暫定標記)
26	土
27	日
28	月
29	火 Web 通信指導による提出期間 終了(～17:00) 郵送による通信指導の提出期間 終了(必着)
30	水

## 第2学期

12 月	
1	木
2	金
3	土
4	日
5	月
6	火
7	水
8	木
9	金
10	土
11	日
12	月
13	火
14	水
15	木
16	金
17	土
18	日
19	月
20	火
21	水
22	木
23	金
24	土
25	日
26	月
27	火
28	水
29	木
30	金
31	土

12月上旬 学校図書館司書教諭講習  
(夏季集中型) 成績通知書発送  
12月中旬 既修得単位認定通知  
[入学時申請者]

2023年1月	
1	日
2	月
3	火
4	水
5	木
6	金
7	土
8	日
9	月
10	火
11	水
12	木
13	金
14	土
15	日
16	月
17	火
18	水
19	木
20	金
21	土
22	日
23	月
24	火
25	水
26	木
27	金
28	土
29	日
30	月
31	火

1月上旬～中旬 継続入学用関連書類発送  
1月中旬 科目登録申請要項発送

2 月	
1	水
2	木
3	金
4	土
5	日
6	月
7	火
8	水
9	木
10	金
11	土
12	日
13	月
14	火
15	水
16	木
17	金
18	土
19	日
20	月
21	火
22	水
23	木
24	金
25	土
26	日
27	月
28	火

2月中旬 単位認定試験成績通知書発送

3 月	
1	水
2	木
3	金
4	土
5	日
6	月
7	火
8	水
9	木
10	金
11	土
12	日
13	月
14	火
15	水
16	木
17	金
18	土
19	日
20	月
21	火
22	水
23	木
24	金
25	土
26	日
27	月
28	火
29	水
30	木
31	金

3月中旬 学校図書館司書教諭講習（夏季集中型）修了証書発送  
3月下旬 教員免許更新講習（冬期）修了証明書発送

## 学習センターについて

### 主な業務

- 面接授業、単位認定試験の実施
- 学生の学習上の各種相談
- 各種証明書の発行
- 学生教育研究災害傷害保険の取扱い
- 奨学生の募集
- グループ研究・課外活動等のための施設貸出業務
- HP・広報紙による学習センター事業の広報 など

### センターを利用できる方

- 本学の学生
- その他所長の許可を得た者

### 利用上の注意事項

- 学習センター・附属図書館を利用する際は、学生証を必ず携帯してください。
- 学習センター内では、他の方へ迷惑にならないよう静粛に願います。
- 学習センター及び放送大学本部敷地内での火気の使用及び危険物等の持ち込みは禁止します。
- 学習センター及び放送大学本部敷地内において、許可なく、宣伝・勧誘及び営利を目的とする販売等の活動を行うことは禁止します。
- 学習センター敷地内の電源を、携帯電話・パソコン等の機器充電のために個人的に利用することは禁止します。

### 開所日と利用時間

	期 間	センター開所時間	事務室窓口
開所日 (火～日)	通常期間	9:30～18:00	9:30～17:30
	面接授業開講日	9:00～18:00	9:20～17:30
	単位認定試験期間	8:15～19:00	
閉所日	月曜日 国民の祝日 年末年始(12月29日～翌1月3日) 学長または千葉学習センター所長が特に必要と認めた日		
備 考	①開所日・開所時間は都合により変更する場合があります。 ②開所日・利用時間は学習センターごとに異なりますので、千葉学習センター以外をご利用の際はご注意ください。		

### 学習センターホームページ

千葉学習センターHPでは、授業・試験日程、学生生活、各種手続き、講演会等の学習センター行事のお知らせやセンター所属の学生団体の紹介など、学習センターの各種情報を発信しています。

### 【千葉学習センター HP】

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/chiba/>



## 「THE CHIBA OUJ」

千葉学習センターでは、原則として年数回、「THE CHIBA OUJ」を発行し、センターからのお知らせをはじめ、様々な情報を発信しています。学生のみならずから寄せられた写真、エッセイ、旅行記、サークルの活動報告なども掲載いたしますので、是非ご投稿願います。学習センターHPよりバックナンバーもご覧いただけます。

## 学生証

学生証は、放送大学の学生であることを証明する身分証明書です。常に携帯し、教職員からの請求があった場合には、提示をお願いいたします。なお、学生証を他人へ貸与または譲渡することは禁じられています。

(『学生生活の菜』学部：P18～ / 大学院：P24～)

### ●学生証が必要となる場合

- ①学習センター・附属図書館・セミナーハウスを利用する場合
- ②単位認定試験を受験、面接授業を受講する場合
- ③面接授業科目の追加登録をする場合
- ④各種証明書の交付を申請する場合
- ⑤学生パソコン室を利用する場合
- ⑥大学の行事等に参加する場合
- ⑦単位認定試験の過去問題・解答の所内貸出を受ける場合
- ⑧学割証により乗車券を購入する場合及びそれを利用して乗車する場合など



### ●学生証発行手続き

学生証を発行するためには「写真票」を大学本部に提出し、システムWAKABAに写真データが登録されることが必要です。システムWAKABAログインIDをお持ちの方であれば、システムWAKABAの「学生カルテ」から直接顔写真を登録することが可能です。入学生の学生証は、入学する学期の開始日（1学期は4月1日、2学期は10月1日）後の開所日より交付します。入学科及び授業料の入金確認の約3週間後に送付される「入学許可書」をお持ちのうえ、学習センター窓口へお越しください。「入学許可書」をもとに、本人とシステムWAKABAに登録されたデータを確認のうえ、学生証を交付します。在学生の有効期限切れに伴う更新の場合は、有効期限後の開所日より新しい学生証と交換しますので、古い学生証を学習センター窓口へお持ちください。

※単位認定試験（大学院・学部）期間中は、窓口が大変混み合いますので、なるべく試験期間が始まる前に発行手続きを済ませてください。やむを得ない事情により試験期間までに発行手続きが行えない場合は、学習センター窓口へご相談ください。

### ●有効期限

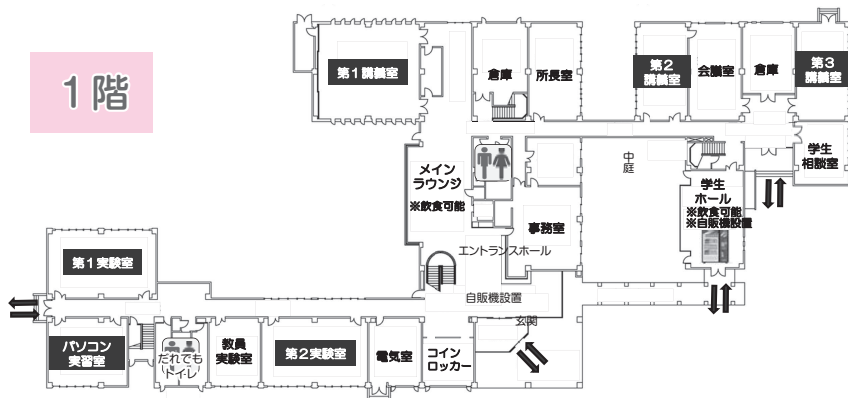
学生証の有効期限は、全科履修生の場合は2年間、選科履修生の場合は1年間、科目履修生の場合は1学期間（半年間）です。有効期限を経過したり、退学等により学籍を失った場合は、学習センター窓口へ返却してください。なお、学籍が継続する場合（休学中も含む）には、期限切れの学生証をお持ちのうえ、学習センター窓口で発行手続きを行ってください。交付は有効期限後の開所日からとなります。

### ●再発行

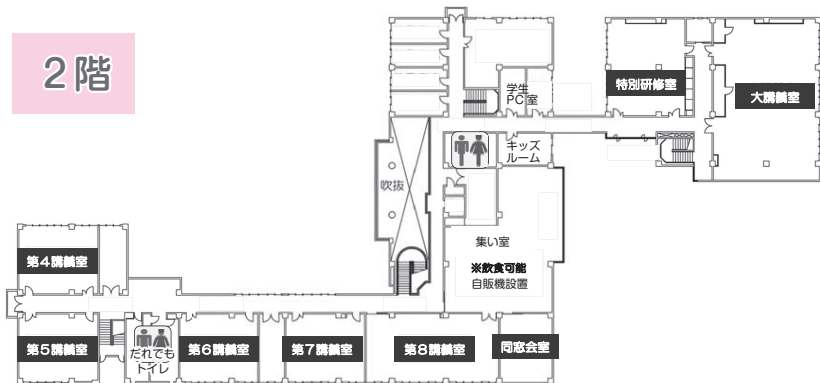
紛失や盗難等により学生証を失った場合、汚損等により使用不能となった場合及び氏名の変更があった場合には、速やかに「学生証再発行願」へ必要事項を記入のうえ、学習センター窓口にて再発行手続きを行ってください。

※再発行には手数料500円が必要となります。

1階



2階



### 施設の使用

学生のみなさんが課外活動やグループ活動のため、学習センター講義室等の使用を希望する場合には、事前に「施設使用願」を学習センター窓口へ提出のうえ、使用許可を受けてください。「施設使用願」は、原則として使用する日が属する月の前月1日（1日が閉所の場合は翌日）から受け付けます。なお、利用時間は、曜日を問わず原則午前10時から午後5時までとします。また、開所日であっても、単位認定試験期間（準備・後片付け期間を含む）、面接授業等のセンター事業が行われている間の使用はできません。

### 掲示板の利用

1階事務室脇エントランスホール、学生ホール、2階集い室に学生用の掲示板を設置しています。文書・ポスターの掲示を希望する場合は、事前に「文書等掲示願」を学習センター窓口へ提出のうえ、掲示許可を受けてください。掲示期間は3週間以内、大きさは原則としてB4版以内とします。

### 学生ホール

会話・休憩等ができるスペースです。飲み物・軽食等の自動販売機のほか、電子レンジを設置しています。ホール内の学生用掲示板を利用する場合は、事前に学習センター窓口で掲示許可を受けてください。

### 集い室

自習・会議用の多目的スペースです。利用申込みの必要はありませんが、多くの方に気持ち良く利用していただくため、大声での会話や必要以上のスペース確保など、他の利用者の迷惑となる行為はご注意ください。室内の学生用掲示板を利用する場合は、事前に学習センター窓口で掲示許可を受けてください。集い室は、自習や打合わせ、食事など多目的に利用できます。

### 学生パソコン室

2階学生パソコン室に、システムWAKABA用のパソコン5台、プリンター1台を設置しています。利用方法等については、23ページをご覧ください。

### 教務用掲示板

1階事務室脇エントランスホール・学生ホールに教務用の掲示板を設置しています。面接授業、単位認定試験、学習相談、その他教務に関する連絡事項が掲示されていますので、学習センターへ来所した際は、必ず確認するようにしてください。

### コインロッカー

正面玄関脇にコインロッカーを設置しています。利用時に100円硬貨が必要となりますが、硬貨は利用後に返却されます。利用する際、貴重品はロッカーに入れずに必ずご自身でお持ちください。なお、利用は当日限りです。お帰りの際には必ず荷物をお持ち帰りください。また、ロッカーの鍵を紛失した場合は、実費を徴収しますのでご注意ください。

## 施設の利用について

### 駐車場・駐輪場

学習センター及び放送大学本部敷地内には、限られた駐車スペースしかありません。来所の際はできるだけ公共交通機関をご利用ください。身体等に障がいをお持ちの方が、車での通学を希望される場合は、事前に学習センター窓口へご相談ください。自転車で来所する場合は、指定された駐輪スペースをご利用ください。

なお、構内での事故等について、学習センターでは一切の責任を負いません。

### 電 話

学生のみなさんに対する外部からの呼び出し電話は、緊急かつやむを得ない場合を除き、原則として取り次ぐことはいたしません。

なお、携帯電話を使用する場合は、周囲に迷惑がかからないようご注意ください。特に講義室等の他の方に迷惑となる場所での通話をご遠慮願います。

また、学習センター、放送大学本部敷地内には公衆電話がありませんので、携帯電話をお持ちでない方は、近隣ショッピングセンター等をご利用ください。

### 飲 食

飲食をする場合は、中庭、1階学生ホール、メインラウンジ、2階集い室をご利用ください。それ以外の場所での飲食をご遠慮願います。

なお、土日の面接授業の際は、センター内の飲み物自動販売機が売り切れとなることが多いため、通学途中でお買い求めいただくことをお勧めします。

### 忘 れ 物

拾得物は学習センター事務室で保管しています。お心当たりの方は、学生証など本人確認できるものをご用意のうえ、学習センター窓口までお越しください。忘れ物・落し物を拾われた方は、学習センター窓口、または放送大学本部構内の守衛所までお持ちください。

### 喫 煙

学習センター建物内は禁煙です。定められた喫煙場所をご利用ください。



(『学生生活の栞』学部：P109～／大学院：P100～)

平成19年4月に、千葉学習センター図書室及び視聴学習室は、センターに隣接する放送大学附属図書館に統合されました。図書の貸出しを希望する方は、学生証をご用意のうえ、附属図書館をご利用ください。

### 利用案内

開館時間	
月曜日～金曜日	9:00～18:30
土曜日、日曜日、祝日、休日、試験期間とその前1週間程度	9:00～20:00
休館日	
年末・年始期間	12月28日～1月4日
館内整理日	1月及び7月を除く毎月第4月曜日 (当該日が祝日・休日の場合はその翌日)

※開館時間、休館日が変更となる場合がありますので、利用前には必ず附属図書館ホームページ等でご確認願います。

### ●入館方法

筆記用具等の持ち込みは自由ですが、かばんその他の手荷物は入館前に館内のコインロッカー（利用料100円は利用後に返却されます）へ預けてください。入館口は自動ゲートになっていますので、学生証を読み取らせて入館してください。

### ●貸出冊数・期間

#### 【図書資料】

		貸出冊数	貸出期間
本学の大学院学生 (休学者除く)	博士後期課程	図書30冊以内	1ヶ月
	修士課程	図書20冊以内	
本学の卒研履修生		図書20冊以内	
本学の学部学生(休学者除く)		図書10冊以内	

※参考図書、雑誌、映像音響資料、貴重図書は貸出できません。

※貸出期限内であって次の予約が入っていない場合は、1回に限り2週間の延長ができます。

※貸出中の資料には、次回の貸出予約をすることができます。

### ●貸出のほかに受けられる主なサービス

- ・レファレンスサービス（文献の探し方・所蔵調査等の質問受付）
- ・各学習センター所蔵図書の取り寄せ
- ・他大学図書館等の資料の文献複写、図書の借用（実費負担）及び、他大学図書館等利用のための紹介状発行
- ・図書の自宅配送サービス（全科生対象・実費負担）
- ・学生図書リクエストの申込み（全科生・選科生対象）
- ・電子ジャーナル、学術情報データベースの利用
- ・館内施設、設置機器等の利用（AVブース、グループ視聴室、演習室 など）

※詳細は「図書館利用案内」または附属図書館HP (<https://lib.ouj.ac.jp/>) をご覧ください。

## 行事・課外活動等について

### 講演会

学習センターでは、幅広い分野の講師をお迎えして、学生のみなさんや地域の方々を対象に無料公開講演会を開催しています。講演内容やスケジュールについては、学習センターHP、館内掲示ポスター、センター広報紙等でお知らせします。

### 入学者の集い・卒業式・学位記授与式

学習センターでは、毎年4月初旬に4月入学者を対象にした第1学期入学者の集いを、9月下旬には9月卒業生・修了生を対象に卒業式・学位記授与式を、さらに10月初旬には10月入学者を対象にした第2学期入学者の集いを、いずれも学習センター2階大講義室で行います。

なお、第2学期の卒業式・学位記授与式は、全国行事として毎年3月下旬に開催されます。

### 所長表彰

1学期と2学期の卒業・修了時期にあわせて、優秀な学業成績を修めた方や、社会貢献等の優れた活動を行った個人・団体などを対象に学習センター所長表彰を行っています。

### 秋祭り

毎年9月頃、学習センターに所属する学生のみなさんの自主的参加のもと、様々な企画を通じて学生相互の親睦を図るとともに、センターでの学習や課外活動の成果を発表して、地域の方々と交流することを目的とする「千葉学習センター秋祭り“幕張祭”」を開催しています。企画・運営を学生主体の実行委員会が中心となって行います。日程、出展募集のお知らせ等は学習センターHP、掲示ポスター、センター広報紙等でお知らせします。

### ミニゼミ

学習センターでは、学生のみなさんを対象にセンター所長や客員教員によるミニゼミを無料開講しています。文学、音楽、歴史、生物、地学など各教員の専門分野に関係したテーマについて、基本的には少人数で先生を囲んでのゼミナール形式で行われていますが、各自が設定したテーマの研究、報告会での発表、合唱など形態は様々です。学校での授業は、とすれば一方的な話の流れになりがちですが、ミニゼミは双方向性、相互啓発性の高い学習形態です。いずれのゼミも人数制限がありますが、興味のある方は是非ご参加ください。ミニゼミ募集については、概要が決まり次第所内掲示ポスター、センター広報紙等でお知らせします。

## ●課外活動（『学生生活の菜』学部：P117～）

### サークル活動

学生のみなさんが、互いに研究やスポーツ等による交流を図るため、サークルや学生団体を結成することができます。新たに団体を設立する場合は、全科履修生または選科履修生の中から責任者を定めるなど、設立に必要な条件を満たしたうえで、毎年4月又は10月の受付期間中に「学生団体設立願」を提出し、設立許可を受ける必要があります。

2022年3月現在、千葉学習センターで放送大学学長により設置が許可されている千葉学習センター学生団体は下表のとおりです。

各団体の活動内容・加入方法等については、学習センターHPまたは所内に掲示された各団体紹介ポスターをご覧ください。

放送大学千葉学習センター学生団体 カウンセリング研究会	放送大学千葉学習センター学生団体 書道クラブ「翠乃会」
放送大学千葉学習センター学生団体 テニスクラブ コスモス	放送大学千葉学習センター学生団体 テイクバック テニスサークル
放送大学千葉学習センター学生団体 ソフトボールクラブ	放送大学千葉学習センター学生団体 海洋クラブ
放送大学千葉学習センター学生団体 テニス同好会 若葉	放送大学千葉学習センター学生団体 若葉スケッチ会
放送大学千葉学習センター学生団体 シニアライフ研究会	放送大学千葉学習センター学生団体 千葉合唱サークル
放送大学千葉学習センター学生団体 古文書を読む会	放送大学千葉学習センター学生団体 千葉囲碁クラブ
放送大学学生団体 心理臨床研修会	放送大学千葉学習センター学生団体 日本の詩歌を楽しむ会
放送大学千葉学習センター学生団体 スペイン語友の会	放送大学千葉学習センター学生団体 軽音楽部
放送大学千葉学習センター学生団体 千葉コンピューターユーザーズ	

### 同 窓 会

#### ●千葉同窓会入会資格

千葉学習センターに所属していた卒業生・修了生であればどなたでも入会できます。又、在学生の方も入会できます。卒業・修了式の際に千葉同窓会より入会申込書をお渡し致します。随時受付もしております。

#### ●千葉同窓会会報の発行

千葉同窓会では、年2回（7、12月）同窓会報を発行し、会員の皆様へ発送しております。同時に放送大学からイベント案内も同封されます

#### ●年間活動等

千葉同窓会では、会員および在学生の親睦を目的とした見学会・研修旅行などを年2回（6、10月）開催しています。行事案内と申し込みについては、同窓会報及び学内掲示板でお知らせいたします。

- **科目登録** (『学生生活の葉』学部：P58～／大学院：P56～)  
放送大学では、次学期に履修したい授業科目を、前学期中に郵送またはシステムWAKABAのいずれかによって申請し、科目登録することが必要となります。

### 科目登録方法

- ①前学期中に放送大学本部から送付される『科目登録申請要項』添付の「科目登録申請票」に履修を希望する授業科目を記入し、申請期間内に大学本部へ郵送してください。申請はシステムWAKABAでも可能ですが、郵送との重複申請はできませんのでご注意ください。
- ②申請票に基づき大学本部で選考の結果、登録となった科目については「科目登録決定通知書」により通知されます。通知書に記載されている単位数合計分の授業料を所定の期日までに払込取扱票により納入してください。
- ③印刷教材等は、授業料の振り込みが確認された後に発送されます。

- **通信指導** (『学生生活の葉』学部：P64～／大学院：P63～)  
放送及び印刷教材により行われる授業科目では、授業の一部として、各学期の途中に1回、一定の範囲で出題される通信指導が行われます。

### 通信指導の流れ

- ①通信指導問題は、一部の新規開設科目を除いて印刷教材と一緒に発送されません。
- ②答えは、各学期の放送授業第8回が終了した後、定められた期間内に大学本部へ提出してください。提出方法は一部の科目を除いて郵送のほか、インターネット上で通信指導問題の提出・解説の閲覧ができる「Web通信指導」で送信することも可能です。定められた期間内に提出しなかった場合は、その科目の当該学期における単位認定試験の受験資格は得られませんのでご注意ください。
- ③提出された答案は、担当教員が添削指導を行い、添削結果を送付します。添削の結果、不合格となった場合は、その科目の当該学期における単位認定試験の受験資格は得られません。なお、通信指導の可否結果は、添削結果と同時期に送付される「単位認定試験通知（受験票）」によって通知されます。

- **単位認定試験** (『学生生活の葉』学部：P68～／大学院：P67～)  
放送授業を履修し、通信指導の結果により受験資格を得た方は、各学期末に行われる当該科目の単位認定試験を受験することができます。

### 試験実施方法および出題形式

2022年度の単位認定試験は、Web受験方式により実施します（郵送受験方式の科目を除く）。

自宅等からインターネットを通じてWeb単位認定試験システムにアクセスして受験します。試験期間中いつでも受験可能ですが、1科目50分の制限時間があり、各科目1回のみ受験可能です。

出題形式は、「択一式」「記述式」「併用式」があり、各科目の出題形式は「授業科目案内」に記載しています。

## ●面接授業

(『学生生活の葉』学部：P35～)

面接授業は、学習センター等で他の学生と一緒に直接講師から指導を受ける授業です。全国 50か所の学習センター及び7か所のサテライトスペースで、年間 3,000クラスの面接授業が開講されています。

### 開講時期

面接授業は全国の学習センター等で開講されます。千葉学習センターでの開講科目だけでなく、他の学習センター等で開講される科目を受講することも可能です。

開講学期	開講期間
2022年度第1学期	2022年4月16日(土)～7月31日(日)
2022年度第2学期	2022年10月15日(土)～2023年1月29日(日)

### 授業実施時間

授業の実施時間は学習センター等によって異なりますので、事前に開講日・時間帯を必ずご確認ください。1科目は1時間30分の授業7回と45分の授業1回で構成されています。

千葉学習センター面接授業実施時間			
1時限	9:50～11:20	4時限	15:50～17:20
2時限	11:35～13:05		
3時限	14:05～15:35		

### 受講にあたって

- 面接授業を受講するには、科目登録が必要となります。科目登録方法については、『学生生活の葉』『面接授業時間割表』をご覧ください。
- 科目登録で決定された科目については、取り消し、クラス及び学習センター等の変更は認められませんのでご注意ください。なお、科目登録申請を行っても、定員の都合上受講できない場合がありますので、申請結果は必ず「科目登録決定通知書」で確認してください。
- 面接授業の追加登録は、科目を開設している各学習センター窓口で行います(追加登録開始2日目からは郵送でも受け付けます)。各学習センターでの追加登録実施方法については、『面接授業開設科目一覧』『面接授業時間割表』をご覧ください。
- 面接授業の開講日及び担当講師は、都合により変更となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 千葉学習センター開設の面接授業の休講・変更については、1階事務室協エントランスホールの教務用掲示板及びシステムWAKABAでお知らせします。
- 面接授業で提出したレポートを事務室から返却する場合は、1階事務室協エントランスホールの教務用掲示板でお知らせしますので、学生証を用意のうえ学習センター窓口までお越しください。保管期限は、翌学期末までです。
- 昼食の際は、センター内の飲食可能スペースをご利用ください。なお、センター内には、飲み物の自販機しかありませんので、食事をお持ちでない場合は、近隣のコンビニ・スーパーでお買い求めいただくか、近隣の飲食店をご利用ください。

### 共 修 生

本学の学生でない一般の方や、すでに修得した面接授業科目を再度受講したい方など、正規に面接授業科目を登録した学生以外の方でも、単位の修得はできませんが、「共修生」として聴講することが可能です。ただし、受講可能科目は、追加登録受付終了後に空き定員がある科目に限られます。入学料は不要ですが、1科目5,500円の受講料が必要となります。詳細は学習センター窓口でご確認ください。

#### ●卒業研究 (『学生生活の栞』学部：P 46～)

卒業研究は、全科履修生の選択科目です（必修ではありません）。履修するには、履修前年度に「卒業研究申請書」の審査により履修が認められることが必要です。なお、履修申請をするには原則として、申請年度の4月1日において全科履修生としての在学期間が2年以上であり、かつ62単位以上を修得していることが必要となります。

卒業研究履修の詳細については、6月上旬に各学習センター窓口で配付予定の『卒業研究履修の手引』をご覧ください。

#### ●体育実技 (『学生生活の栞』学部：P 47～)

体育実技は、全科履修生の選択科目です（必修ではありません）。体育実技の科目登録後、各地で社会体育事業等として行われている各種の体育・スポーツ教室などに参加することにより、体育実技の単位（1単位）が認められます。通信指導・単位認定試験は実施されません。なお、体育実技の科目履修にかかる費用については、すべて本人負担となります。

身体に障がい有する方の体育実技については、千葉学習センターをはじめ放送大学の主な学習センターにおいて、各学期3日程度（1日当たり4～5時間）、個々の特性に応じた体育実技授業を開設します。参加希望の方は、科目登録のうえ、事前に学習センター窓口にご相談ください。

体育実技履修の詳細については、『体育実技履修の手引』をご覧ください。放送大学ホームページまたは学習センター窓口にてご覧いただけます。

どのような種目が認められるか等については、システムWAKABAに掲載している「体育実技履修の手引」及び「体育実技かんたんガイド」を参考にしてください。

#### ●学習相談

千葉学習センターでは、学習上の初歩的な疑問・悩み、学習の方法、学習の進め方、授業内容等について、所長または客員教員等が直接面談のうえ相談に応じています。

各教員の相談日については、1階事務室脇エントランスホールの教務用掲示板に掲示してありますので、相談を希望する方は、所定の「学習相談票」に相談事項を記入のうえ、事前に学習センター窓口へお申込みください。

相談日時は、各教員の予定を調整のうえ改めて通知します。

#### ●質問票について (『学生生活の栞』学部：P 82～ / 大学院〈修士課程のみ〉P 77～)

印刷教材や放送教材での学習を進めていく中で生じる様々な疑問を、自らの手で解消することでより深い学習効果が得られることとなりますが、自分で調べてもどうしても解消できない疑問が生じた場合には、次の方法で主任講師に質問し回答を受けることにより、それを実現することもできます。



## ●主任講師への質問方法

質問するには、①『学生生活の栞』巻末の質問票（学部：様式15／大学院：様式14）を用いて郵送する方法と②システムWAKABA内に設けられている「質問箱」から行う方法の2つがあります。電話で質問することはできません。また、主任講師に直接メール等で質問することはできません。必ず質問票・質問箱を利用してください。

質問する際は、以下の注意事項をよく読んで送付してください。

- ア 質問の内容は、現在履修中の科目（再試験対象者含む）で修学上生じた授業内容に直接関わる学問的なことに限ります。履修外の科目や閉講科目についての質問、また、日常で生じた疑問点は対象になりません。
- イ 質問は、印刷教材等における該当箇所を明示し、関係部分を引用するなどできるだけ具体的に作成してください。（例：○章○ページ○行、○年度○学期単位認定試験問題について、など）
- ウ 質問は、まずご自身で十分調べて、その中でどうしても理解できない内容を具体的に記載してください。
- エ 計算等が必要な質問は、必ず疑問点に至る過程を書いてください。

## ●質問に対する回答

質問への回答は、主任講師からの個別回答で行うこととしています。ただし、主任講師からの個別回答は、質問の妥当性・回答の必要性等について各主任講師が判断のうえ行いますので、回答できない場合があります。また、主任講師の都合や、諸事情により回答に時間のかかる場合がありますので、余裕を持って質問をしてください。

## ●質問票（郵送）の作成・提出上の注意

- ア 質問科目が複数にわたる場合は、用紙をコピーして科目ごとに作成してください。記入する際は、ボールペンを使用してください。パソコンを使用する場合は、所定様式で作成するか、質問部分を所定様式にあわせて作成し、貼付してください。なお、質問内容が確認できるように、コピーやメモをお手元に保管してください。
- イ 封筒は、ご自身で用意していただき、必ず大学本部学生課宛てに送付してください。  
（※学習センター又は教員に直接送付した場合は、回答できません）
- ウ 第四種郵便を利用する場合は、以下の注意を守ってお送りください。郵便料金は100グラムまで15円です。（2019年12月現在）  
（※料金の詳細については、郵便局ホームページまたは直接郵便局で確認してください）

### 質問票を第四種郵便で送る際の注意

封筒左下側に、記入例のとおり「質問票在中」「文部科学省認可通信教育」とお書きください。

封筒上部を3分の1程度閉封し、質問票の「文部科学省認可通信教育」の文字が閉封部分から確認できるようにしてください。

質問票以外のものは同封しないでください。質問票以外のものを同封すると、第四種郵便は適用されません。

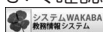


### ●各種様式

各種願・届出のための様式及び証明書発行申請様式は、『学生生活の葉』の巻末、学習センター窓口前のカウンターに備えてあります。また、システム WAKABA には各種申請用紙が PDF で用意されていますので、そちらを印刷してご利用いただけます。

### ●注意事項

願・届出の種類により、受付期間が決められていたり、学生種により提出先が異なっていますので、提出にあたっては、必ず『学生生活の葉』で事前によく確認をしてください。



マークがついた手続きは、システム WAKABA から手続きが可能です。

### 氏名の変更

在学期間中に氏名の変更があった時は、速やかに『学生生活の葉』巻末の様式または、学習センター窓口前のカウンターに備えてある「氏名変更届」に、戸籍または免許証など氏名を変更したことが確認できる書類の写しを添えて、大学本部学生課入学・履修係へ提出してください。

また、あわせて学生証の再発行手続きも行ってください。

※修士全科生・博士全科生の提出先は大学本部教務課大学院企画・入試係となりますのでご注意ください。

### 住所等の変更



在学期間中に現住所または連絡先の電話番号、国籍に変更があったときは、速やかに『学生生活の葉』巻末の様式または、学習センター窓口前のカウンターに備えてある「住所等変更届」を所属学習センターに提出してください。  
※現住所に変更があった場合は、必ず最寄りの郵便局にも「転居届」を提出してください。

### 職業等の変更

在学期間中に職業等に変更があったときは、速やかに『学生生活の葉』巻末の様式または、学習センター窓口前のカウンターに備えてある「職業等変更届」を大学本部学生課入学・履修係へ提出してください。

※修士全科生・博士全科生の提出先は大学本部教務課大学院企画・入試係となりますのでご注意ください。

### その他手続き



下表の願・届出は、いずれも提出先が大学本部となっています。また、受付期間が設定されていますので『学生生活の葉』で事前によく確認をしてください。

なお、下表の願・届出はいずれもシステム WAKABA から手続きが可能です。

種 類	『学生生活の葉』	提出先（修士全科生・博士全科生）
「所属コース・専攻変更願兼カリキュラム移行届」	学 部：P85	大学本部学生課入学・履修係
所属学習センター変更願	学 部：P86 大学院：P79、83	大学本部学生課入学・履修係 （// 教務課大学院企画・入試係）
休学届／復学届／退学届	学 部：P89～91 大学院：P87～89	大学本部学生課入学・履修係 （// 教務課大学院企画・入試係）



## 各種証明書の発行

在学中または卒業後に各種証明書が必要となった場合は『学生生活の栞』巻末、システム WAKABA のキャンパスライフ機能、学習センター窓口前のカウンターのいずれかで「諸証明書交付願」を入手し、必要事項を記入のうえ請求してください。発行手数料は1通につき200円です。

- 「在学証明書」「成績・単位修得証明書」「卒業／修了証明書」「卒業／修了見込証明書」「在学期間証明書」「履修証明書」は所属学習センター以外でも発行します。
- 教員免許状申請用または学芸員等の資格にかかる単位取得証明書、大学院受験のための調査書は所属学習センターでのみ発行します。これら特殊な証明書の発行には約2週間程度かかりますので、余裕をもって請求するようご注意ください。
- 郵送による申請方法については、『学生生活の栞』をご覧ください。

## 学割証の発行

全科履修生・修士全科生・博士全科生が、自宅から学習センター又は大学本部に通学する場合等に「学割証」の交付を受けると、JR・私鉄・バスの乗車券等を割引料金で購入することができます。発行区間は、実際に利用する経路にかかわらず、目的地までの最短経路となります。また回数券の場合は、往復が同一経路である場合に限りです。

※乗車券の種類、割引率、購入方法等は会社により異なりますので、所属学習センターへお問い合わせください。

- **申請方法**  
学習センター事務室窓口前のカウンターに備えてある所定の交付願（システム WAKABA のキャンパスライフ機能）に必要事項を記入のうえ、学生証を添えてお申込みください。  
郵送による申請方法については、『学生生活の栞』をご覧ください。

## 学生教育研究災害傷害保険

学生のみなさんが教育研究活動中に被る事故に対する補償を目的とする、任意加入の保険制度です。全科履修生だけでなく、すべての学生種の方が加入することができます。万一の事故に備えてこの保険に加入することをお勧めします。

種 類	保険料	保険期間
学生教育研究災害保険	100 円	6 年間 (ただし、期間中連続して 在学中であること)
通学特約	プラス 40 円	
付帯賠償	プラス 340 円	1 年

- **加入方法**  
加入を希望する方は、学習センター窓口へ学生証と保険料を添えてお申込みください。所属学習センター以外でも加入できます。なお、保険の効力は加入申込み翌日午前0時からとなります。学生研修旅行やミニゼミ等の課外活動に際して加入する場合は、実施日前に加入するようご注意ください。

### ● Web サービス (『学生生活の葉』学部：P 112～/大学院：P 103～)

放送大学では、学生のみなさんの修学をサポートするため、次のサービスを提供しています。

- ①システム WAKABA (特別聴講学生、博士全科生を除く)
- ②キャンパスメール (特別聴講学生を除く)
- ③千葉学習センター学生用パソコン

### システム WAKABA

システム WAKABA は、学生がインターネットを介して利用できる大学の教務情報システムであり、学籍情報や単位の履修状況等を閲覧するための「①教務情報機能」に加え、2018年度からは旧キャンパスネットワークホームページの機能を統合したことにより、学生生活における各種お知らせや手続情報を取得するための「②キャンパスライフ機能」と、放送授業等の履修科目の学修を支援するための「③授業サポート機能」を兼ね備えた、本学学生のためのポータル (入口) サイトとしても機能します。

#### 【主な機能：①教務情報機能】

※学生種によって利用できる機能は異なります。

- 学生カルテ (学籍情報、住所・連絡先情報、履修情報、単位履修状況情報、教材発送情報など)
- 変更・異動手続
- 履修成績照会
- 科目登録申請
- 所属コース変更及びカリキュラム移行のシミュレーション・手続
- シラバス参照

#### 【主な機能：②キャンパスライフ機能】

- 学内連絡 (大学・学習センターからのお知らせ)
- スケジュール (放送・面接授業の予定、試験期間の予定 他)
- 学内FAQ (本学に関するFAQ)
- 各種届出等申請様式 (手続関係等の様式取得 他)
- セミナーハウス予約

#### 【主な機能：③授業サポート機能】

- 授業連絡 (履修する放送授業に関する主任講師からのお知らせ)
- 授業共有ファイル (履修する放送授業に関する主任講師からの補助教材等の提供)
- 質問箱 (履修中の放送授業等の内容に関し主任講師へ質問する機能)
- 資料室 (印刷教材の正誤表等、全学生が共通して授業関連の情報を得るための機能)
- 談話室 (一部の放送授業科目に関するコミュニケーション機能)
- 学内リンク (インターネット配信システム、オンライン授業システム、Web 通信指導システム、単位認定試験の問題・解答ページ等への各種リンク)

※モバイル端末からの利用について

システム WAKABA は、タブレットPC やスマートフォンなどのモバイル端末にも対応しております (ただし、一部機能には制限があります)。

## キャンパスメール

「キャンパスメール」は、Web ブラウザを利用したメールシステムです。学生全員にメールアドレスが割り振られており、学外のパソコンからでも自由に利用することができます。

## 学生用パソコン

2階学生パソコン室に、システム WAKABA 用のパソコン5台、プリンター1台を設置しています。利用を希望する場合は、学生証をご用意のうえ学習センター窓口にてお申込みください。

### 【利用にあたって】

- 利用時間は、学習センターの開所時間～閉所時間 30 分前までです。
- 1 回の利用は 1 時間。ただし次の利用者がいない場合は、再度手続きをすれば延長利用が可能です。
- プリンターの印刷用紙は利用者自身で用意してください。
- 単位認定試験期間・大学院入学試験期間などは利用できません。また、システムメンテナンスなどのため、利用できない場合があります。

## ハラスメントについて

ハラスメント（相手を不快にさせる言動・行為）は学生の皆様の学習環境を悪化させるだけでなく、センターの様々な業務にも支障を与える行為です。千葉学習センターではあらゆるハラスメントをなくし、豊かな学習環境を提供し、皆様に安心した学生生活を送って頂くよう努めている所です。そのためには以下のことを守り、ハラスメントのない学習センターの学習環境になるよう、皆様の御協力をお願いします。

1. 自分の言動に対し、相手が不快感をもっていると感じたら、その行為はすぐにやめましょう。
2. 不快な事や不快な思いをした時は「No」とはっきり言えるようにしましょう。
3. ハラスメントにあたり、ハラスメントを見聞きした時は、学習センターのハラスメント相談員（所長・事務長）に相談するか、所長室前の手紙箱へ連絡先と氏名を明記し投函してください。

## 学生相談

千葉学習センターでは、学生のみなさんが抱えている悩みや問題について、ともに考え話し合い、みなさんがより豊かな学生生活を送ることができるよう学生相談室を設置しております。相談したい方は氏名・学籍番号・連絡先を明記のうえ、下記メールアドレスに申し込みください。（学生相談室入口近くに相談ボックスを設置し、そこでも申し込みができるようになっております。）なお、相談は千葉学習センター所属の学生に限らせていただきます。

相談日時	毎月第 2・4 土曜日を予定	10 時～ 17 時 (12 時から 13 時を除く)
相談場所	学生相談室 (1 階)	
連絡先	soudan-chiba@ouj.ac.jp	

※秘密は硬く守ります。安心してお越しください。

学習センター所長

片岡 洋子 千葉学習センター所長／特任教授（専門：教育学）

客員教員等

山本 純ノ介 客員教授（専門：音楽教育・作曲）  
小堀 洋 客員教授（専門：低温物理学）  
伊藤 慎 客員教授（専門：地球科学）  
中村 俊彦 客員教授（専門：生態学・植物学）  
根田 仁 客員教授（専門：きのこ分類学・きのこ栽培学）  
伊藤 誠 客員教授（専門：音楽科教育・ヴァイオリン）  
柴 佳世乃 客員教授（専門：中世文学）  
金子 智栄子 客員教授（専門：教育心理学・保育心理学）  
青砥 清一 客員教授（専門：スペイン法学・スペイン語）  
森山 直人 客員准教授（専門：臨床心理学／福祉心理学）  
兼古 勝史 客員准教授（専門：音楽教育）

支援協力教員

奈良 由美子 放送大学教授（専門：生活経営学／リスクマネジメント論）  
二河 成男 放送大学教授（専門：生命情報科学／遺伝学）  
佐藤 仁美 放送大学准教授（専門：臨床心理学）

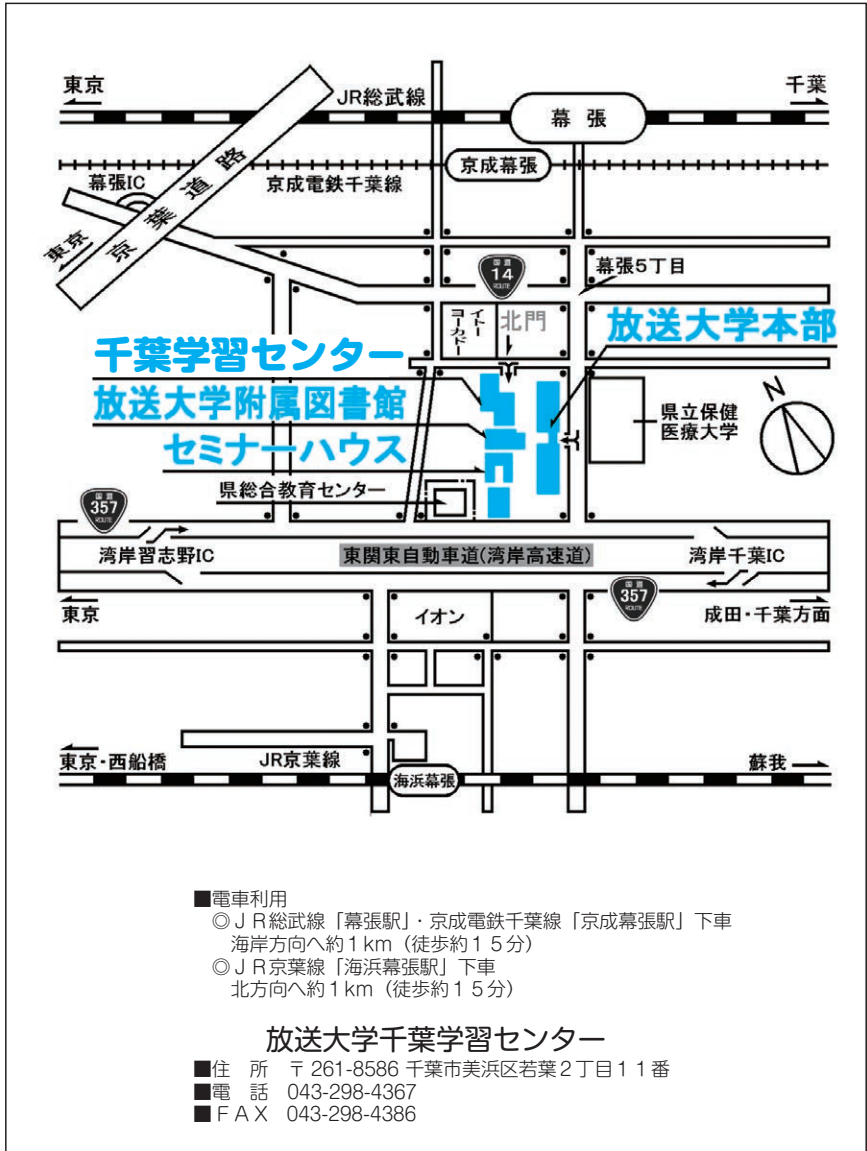
大学本部及び他の学習センター

センター等名	所在地	電話番号
放送大学本部	〒 261-8586 千葉市美浜区若葉 2-11	043-276-5111
茨城学習センター	〒 310-0056 水戸市文京 2-1-1 (茨城大学キャンパス環境リサーチラボラトリー内)	029-228-0683
栃木学習センター	〒 321-0943 宇都宮市峰町 350 (宇都宮大学峰キャンパス附属図書館内)	028-632-0572
群馬学習センター	〒 371-0032 前橋市若宮町 1-13-2 (群馬県立図書館北)	027-230-1085
埼玉学習センター	〒 330-0853 さいたま市大宮区錦町 682-2 (大宮情報文化センター 8・9・10 階)	048-650-2611
東京渋谷学習センター	〒 150-0043 渋谷区道玄坂 1-10-7 (五島育英会ビル 1 階)	03-5428-3011
東京文京学習センター	〒 112-0012 文京区大塚 3-29-1	03-5395-8688
東京足立学習センター	〒 120-0034 足立区千住 5-13-5 (学びピア 21 内)	03-5244-2760
東京多摩学習センター	〒 187-0045 小平市学園西町 1-29-1 (一橋大学小平国際キャンパス内)	042-349-3467
神奈川学習センター	〒 232-8510 横浜市南区大岡 2-31-1	045-710-1910
新潟学習センター	〒 951-8122 新潟市中央区旭町通 1 番地 754 (新潟大学旭町キャンパス内)	025-228-2651
山梨学習センター	〒 400-0016 甲府市武田 4-4-37 (山梨大学甲府キャンパス内)	055-251-2238
長野学習センター	〒 392-0004 諏訪市諏訪 1-6-1 (アーク諏訪 3F)	0266-58-2332

(学習センターは、南関東・北関東ブロックのみ掲載)



## 千葉学習センター案内図





放送大学